

# 外国人集住都市会議 津会議2017

三重・滋賀・岡山ブロック



かめやま文化年 イメージキャラクター  
カメのぶんちゃん

亀山市長

櫻井 義之

Yoshiyuki Sakurai







亀山・関テクノヒルズ



関宿の町並み  
(重要伝統的建造物群保存地区)



東名阪⇔新名神  
亀山ジャンクション



リニア中央新幹線



歴史・ひと・自然が心地よい

# 緑の健都 かめやま

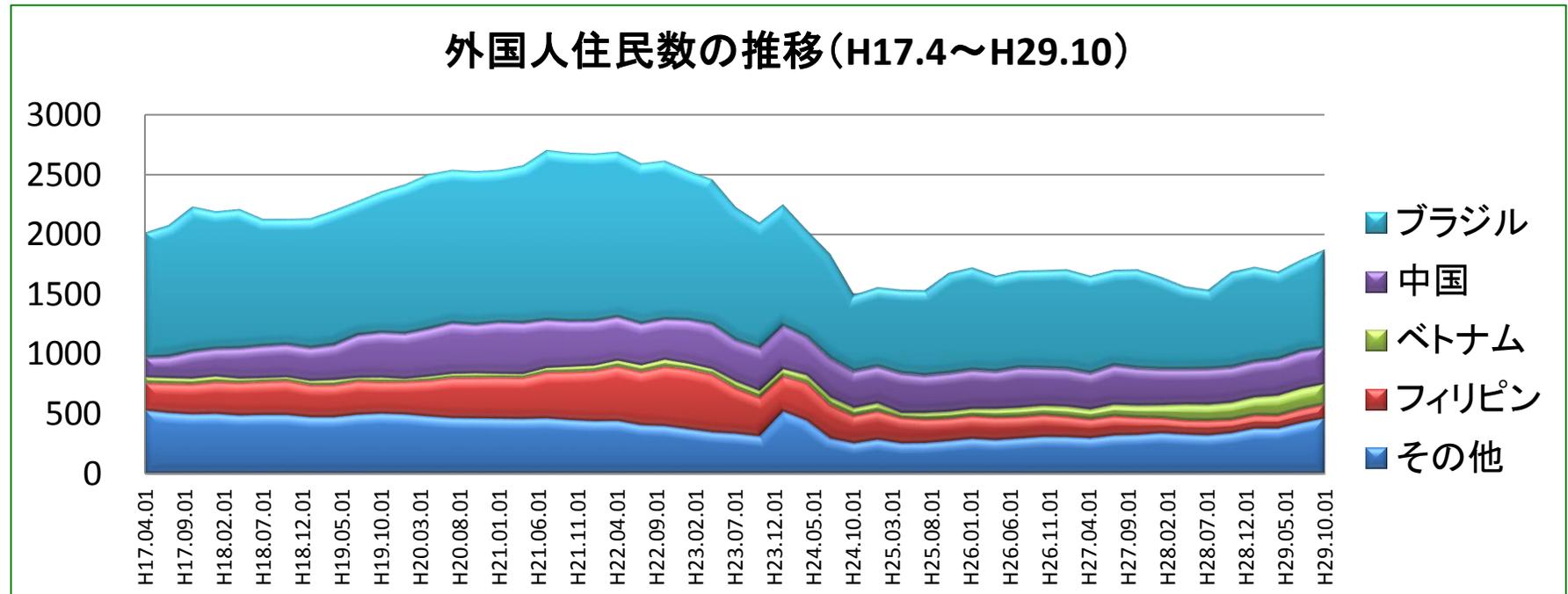
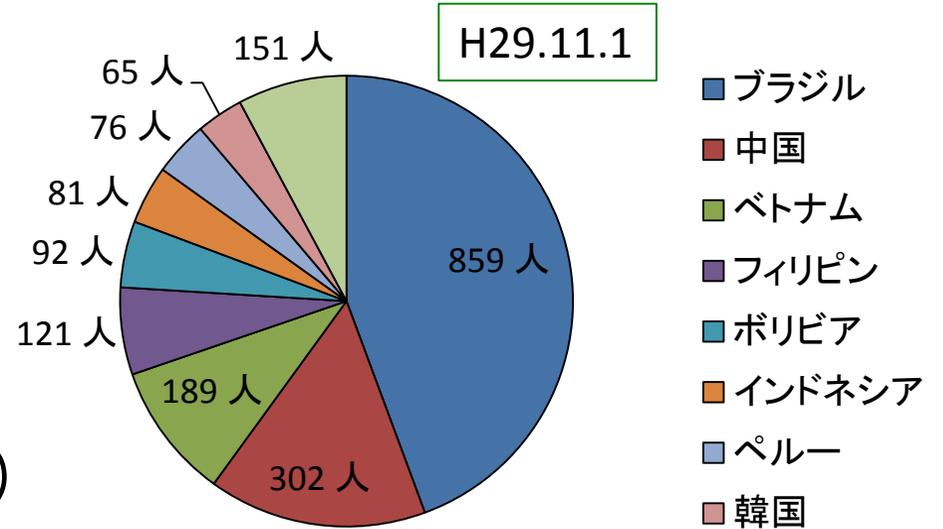
## の実現を目指して

### 目指すまちのイメージ

- 快適に過ごせるまち
- 心と体の豊かさを感じられるまち
- 活力のあるまち
- 豊かな子育てができるまち
- つながりと交流のあるまち



亀山市の外国人住民  
 国籍数 33ヶ国  
 人口 1,936人  
 外国人の割合3.9%  
 (平成29年11月1日現在)



## 外国人住民が日本語を習得することで・・・

- ①職の安定、生活の安定
- ②社会保障費増大の抑制
- ③外国につながる子どもの教育の充実
- ④地域社会の担い手になる

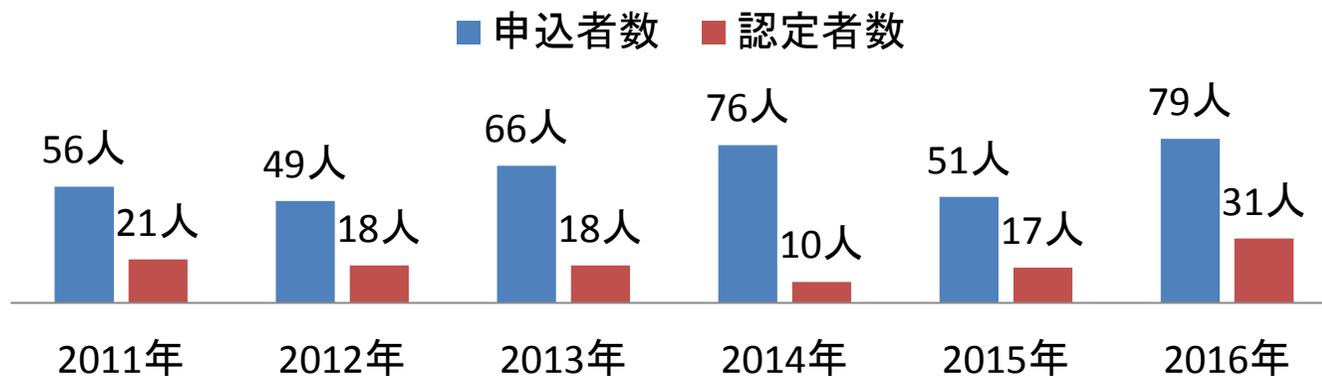


外国人住民の日本語学習・  
日本語の習得は非常に重要



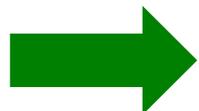


## 亀山日本語教室の申込者数と認定者数



日本語教室への年間の申込者数に対して、認定者は少数。

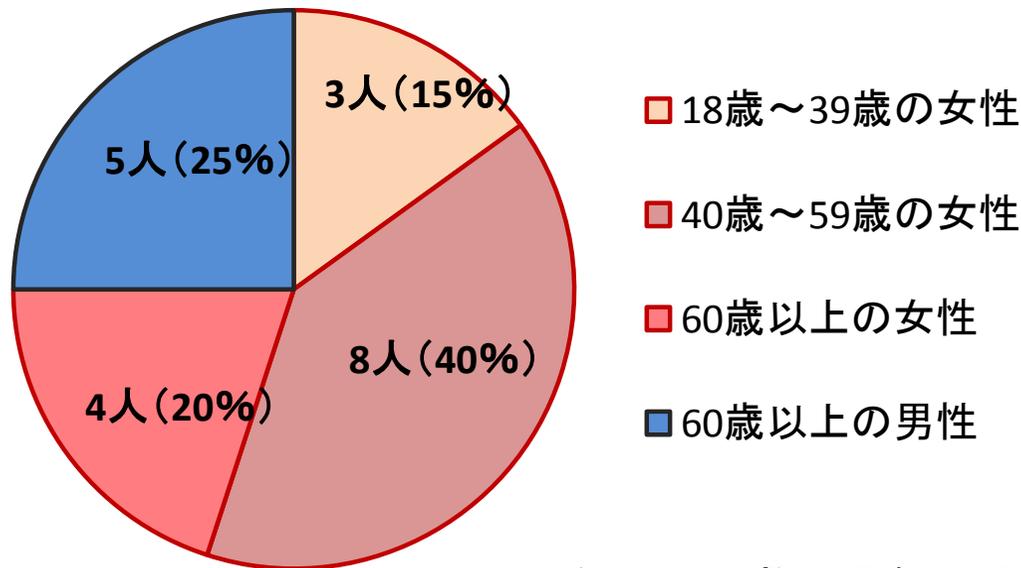
(認定者:たとえ年度途中からであっても最後まで教室に通った人は認定者としている。)



継続した学習につながるような手立てが必要

## 亀山日本語教室は、 今から17年ほど前にスタート

### 亀山日本語教室の現在のスタッフ構成



※スタッフの人数は現在20人

#### ◆高齡化が課題

◆スタッフの75%が女性。  
これからは更に女性の正  
規雇用、社会進出が進む。

➡ **負担の大きい  
日本語ボランティアを  
若い女性に頼るモデル  
はますます困難に  
なっていく。**



## 課題①

外国人住民にとって日本語の習得は重要。  
学習意欲を高めるための制度的な後押しが必要



日本語講習参加の履歴と日本語能力に関連する項目を、「定住者」、「永住者」等の在留資格の更新・変更の優遇措置項目に位置付け

## 課題②

これまでのような地域の日本語教室のモデル  
継続は困難



日本語教育のボランティア講師の人材確保や、職業としての日本語教師の養成制度の導入